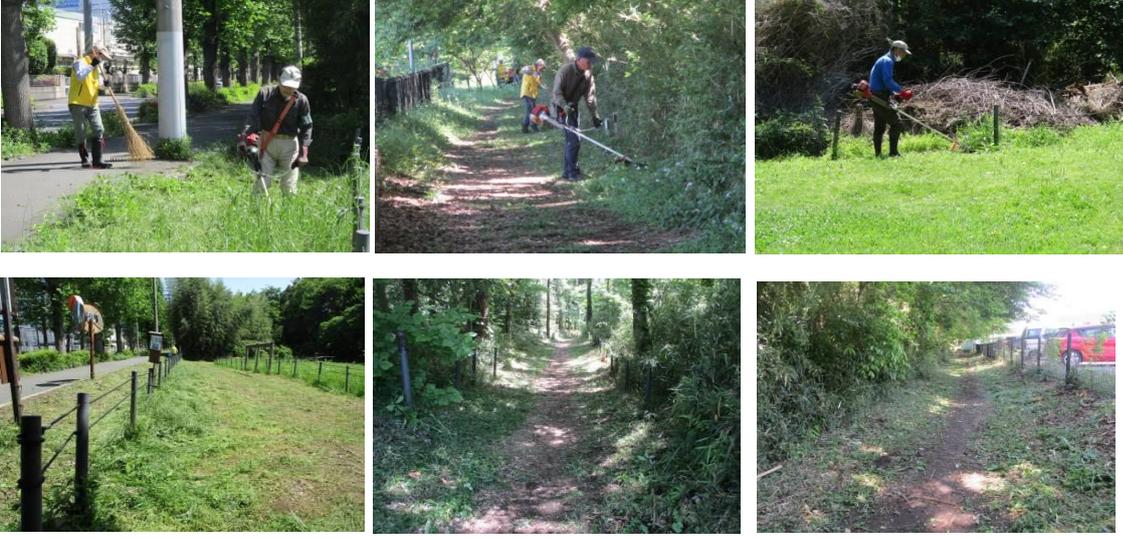


実施日時: 5月4日 (土) 9:00~12:00
 天候: 晴れ
 報告者: 橋本谷・中川 望

項番	作業内容	従事人数
1	<p>真夏のような陽気の好天の下、”GW期間中なので、活動参加者は少ないかもしれない”とも思いましたが、お馴染みのサポーターのMさんに加え、総勢28名の皆さんが集まってくれました。本日は、①園路等の除草、②植生調査、③チョウ類のモニタリング調査、④用具類の手入れ及び保管場所の整理、⑤管理棟まわりの清掃、等の活動を行いました。</p> <p>園路等の除草 刈払機を使用して園路や道路境界部分等の除草を行いました。</p>  <p>除草終了後① 除草終了後② 除草終了後③</p>	8名
2	<p>植生調査 マムシグサの不思議 (2021年5月16日の報告書の再掲)</p>  <p>マムシグサの靴状葉 マムシグサの仏炎苞 脱出口</p> <p>仏炎苞: 花に付随した葉が特殊な形に変わったもので、仏像の背後にある炎をかたどる飾りに似ていることが名の由来。</p> <p>虫(キノコバエ類)は、匂いに誘われて仏炎苞の奥深くまで滑り落ちる。雄花の場合は仏炎苞の基部に隙間があり、花粉まみれになった虫が脱出し、今度は雌花に誘われて落ちていくが脱出口が無く、出ることが出来ず衰れである。</p> <p>靴状葉は、マムシの皮膚の模様に似ているのでマムシグサと名付けられた。</p>  <p>マムシ(写真はHPより)</p>	15名

参加者 28名 (会員 27名 サポーター 1名)

項番	作業内容	従事人数
	<p>樹に咲く花</p>  <p>ニガキ(4月26日撮影) カマツカ サワフタギ</p>	
3	<p>チョウ類のモニタリング調査</p> <p>ヤマトシジミ、ウラギンシジミ、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、ヒメウラナミジャノメ、サトキマダラヒカゲ、アカボシゴマダラ、コムスジ、ダイミョウセセリ、コチャバネセセリの10種類のチョウ類を確認しました。</p> <p>(写真はございません。)</p>	15名
4	<p>用具類の手入れ及び保管場所の整理</p>  <p>ノギリ・カマ等の手入れやクマデ・ホウキ等の保管場所の整理を行いました。</p>	2名
5	<p>管理棟まわりの清掃</p> <p>管理棟前やフジ棚下のテーブル・ベンチ等の清掃を行いました。</p> 	3名